

みなさんがっこうがはじまっておげんきですか。クリスマスとおしょうがつがおわってふつうのせいかつにもどって、どんなかんじですか。いちにちもはやくきょうかいがっこうがはじまったらいいのにとわがっています。

そのとき、ヨハネはふたりのでしといっしょにいた。そして、あるいておられるイエスをみつめて「みよ、かみのこひつじだ」といった。ふたりのではそれをきいて、イエスにしたがった。イエスはふりかえり、かれらがしたがってくるのをみて「なにをもとめているのか」といわれた。かれらが、「ラビー『せんせい』といういみ---どこにとまっておられるのですか」というと、イエスは「きなさい。そうすればわかる」といわれた。そこで、かれらはついていって、どこにイエスがとまっておられるかをみた。そしてそのひは、イエスのもとにとまった。ごご4じごろのことである。ヨハネのことばをきいて、イエスにしたがったふたりのうちのひとり、シモン・ペトロのきょうだいアンデレであった。かれは、まずじぶんのきょうだいシモンにあって、「わたしたちはメシア『あぶらをそそがれたもの』といういみ\_にであった」といった。そしてシモンをイエスのところにつれていった。イエスはかれをみつめて、「あなたはヨハネのこシモンであるが、ケファ---『いわ』といういみ---とよぶことにする」といわれた。

きょうのミサのだい一のろうどくは『サムエル 3.3b～10.19』（聖書お持ちでしたらゆっくり読んだら良く分かります。）

サムエルというしょうねんは、しんでんでいろいろとおてつだいをしていました、そしてあるひかみさまからとくべつなよびかけがありました、しかしかみさまからのよびかけであることをわからなかったので、さいしのエリにおしえてもらって、よばれたらそのとき「しゅよ、おはなしてください、しもべはききます」とこたえるようにいわれました。ふたたびじぶんのなまえをよばれたとき、エリにいわれたとおりにこたえました。そのときかみさまはサムエルにおおきなやくわりをあたえました。それはイスラエルのくにのひとびとにかみさまのかんがえをつたえるということでした。

ふくいんしよではさいしよのでしたちがはじめてイエスさまであったときのことがかいてあります。ふたりのでのひとり、シモン・ペトロのきょうだいアンデレで、もうひとりはヨハネでした。

このふたりはせんれいしゃヨハネののでしであって、せんれいしゃヨハネといっしょにいたとき、せんれいしゃヨハネは、イエスさまのことをふたりにしらせました。そしてふたりがイエスさまのちかくまでいったとき、イエスさまはふたりにこえをかけられた「なにをもとめているのか」。ふたりはイエスさまにききました「どこにおとまりなのですか」。イエスさまのことをしりたい、イエスさまのところにふれたかったのでしょう。イエスさまは「きなさい、そうすればわかる」そういってふたりをまねかれました。このふたりのでしにとってはじめてイエスさまにであったときのことはすごくいんしょうふかかったのです。じかんまで4じだったとわたしたちにつたえています。

リーダーはこのばめんがだいすきで、いろいろとかんがえさせられます。そのばんこのふたりのではイエスさまのとまところにおせわになったのに、なんにもおえしてくれないのですが、イエスさまのはじめてのであいはいっしょうわすれられないほどいんしょうてきてました。イエスさまについていたらだいじょうぶだとかんじたのですぐにじぶんたちのきょうだいにイエスさまのことをおしえましたね。

わたしたちはイエスさまにあいたいですね。イエスさまはどこにいらっしゃるのでしょうか。じぶんのころのなかをのぞいてごらん。イエスさまはひとりひとりのころのなかについて、まいにちイエスさまがいっしょにいてくださることをでしたちとおなじようにからだでかんじたら、イエスさまのぞみがわかっていくでしょう。

イエスさまはまいにちのせいかつのなかでどうしたらよいかをおしえてくださいますよ！ちよくせつではないが、おとうさん、おかあさん、おともだち、せんせいをとおしておしえてくださることもありますよ！おいのりもですよ。